

国営総合農地防災事業

わかやまへいや

和歌山平野地区

事業概要説明資料



近年、多発する豪雨により農地等が水につき、地域の農業は深刻な影響を受けています。

早期の事業着工により、農地等が水につかる被害を軽減し、地域農業を発展させ、安全な地域をつくりましょう。

国営総合農地防災事業和歌山平野地区事業推進協議会

■ 和歌山平野地区は県下有数の優良な農業地帯 ■

本地区は和歌山市、紀の川市及び岩出市にまたがる、県下有数の水田地帯で、水田を有効に活用した土地利用が行われています。水稲をはじめ、キャベツ、はくさい等の野菜、もも、みかん等の果樹など多数の農作物が生産され、京阪神市場などにも多く出荷される、優良な農業地帯となっています。

●和歌山県有数の水田地帯



●水田の有効活用



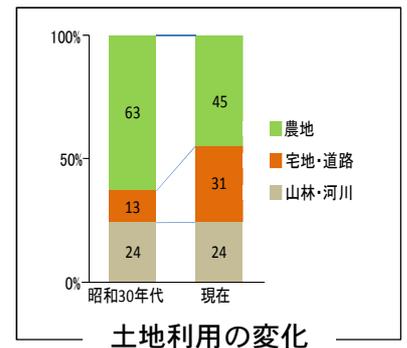
●優良な農作物の生産



■ 土地利用の変化と多発する豪雨で、多大な農業被害が発生 ■

●土地利用の変化

農地には、雨水を一時的にためて、大量の水が短時間で地表を流れ出ることを防ぐ働きがあります。しかし、近年、都市化などにより土地利用が変化したため、農地の割合が減少しました。この結果、豪雨時に、農地等が水につかるなどの被害が以前に比べて増加しています。



●豪雨に見舞われ、地域に多大な被害が発生

この地域では、近年豪雨が多発し、最近の6年間のうち5回も、水田や樹園地が水につかることにより、「作物が出荷できない、商品価値が下がる」などといった農業被害が発生しています。また、宅地などが水につかる被害も発生しています。

このため、早急に対策を実施する必要性が高まっています。



■ 和歌山平野地区の排水対策 ■

本事業では、排水機、農業用水路を改修又は新設します。これにより、地域の排水の機能を回復させ、農業の発展と地域の安全に貢献します。

● 排水機の改修・新設 ●

排水機の改修・新設イメージ



現状

豪雨時、排水機の排水が追いつかず、農地が水につかる被害が発生しています。

整備後

ポンプを性能の高いものに更新するなど、排水機を改修・新設することにより、排水能力を高めます。

● 農業用水路の改修・新設 ●

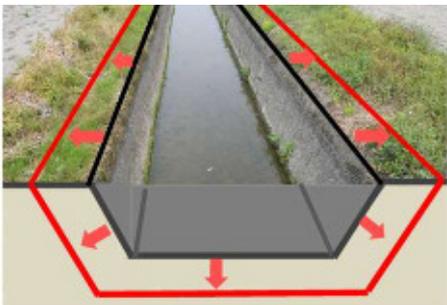
現状



豪雨時には、短時間に大量の水が農業用水路に流れ込み、農業用水路から水があふれて、農地等が水につかる被害が発生しています。

整備後

農業用水路の改修イメージ



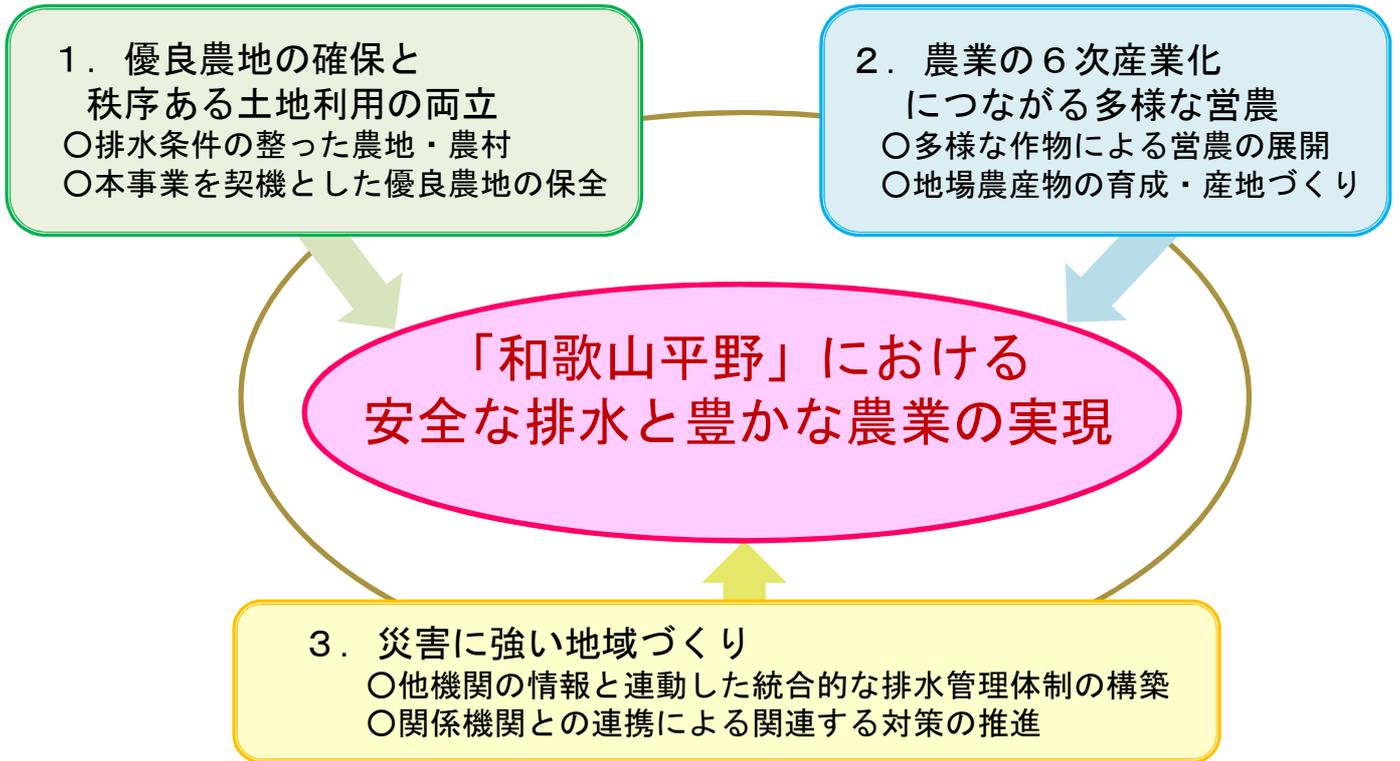
今ある農業用水路を活用して、水路底を掘り下げたり、水路幅を拡幅することにより、排水を流下させる能力を高めます。

農業用水路の新設イメージ



道路などの下に新たに農業用水路を埋め込むなどにより、排水を流下させる能力を高めます。

■ 和歌山平野地区が目指す姿 ■

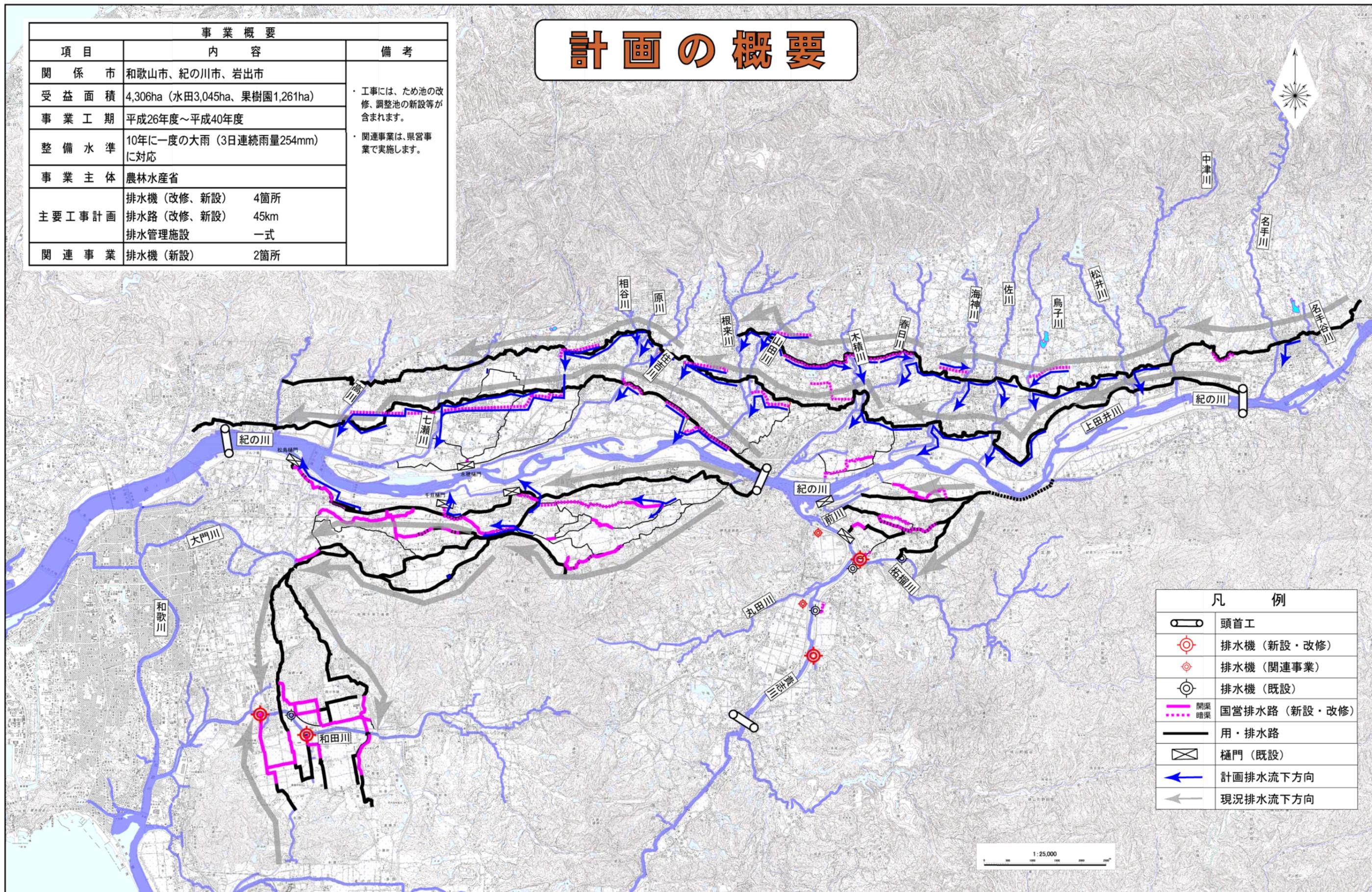


問い合わせ先

和歌山市 産業まちづくり局 農林水産部 耕地課	TEL 073-435-1051
紀の川市 農林商工部 農地課	TEL 0736-77-2511
岩出市 事業部 土木課	TEL 0736-62-2141
和歌山県 農林水産部 農林水産政策局 農業農村整備課	TEL 073-441-2944
和歌山県 海草振興局 農地課	TEL 073-441-3362
和歌山県 那賀振興局 農地課	TEL 0736-61-0017
農林水産省 近畿農政局 和歌山平野農地防災事業所	TEL 0736-65-3360

計画の概要

事業概要		
項目	内容	備考
関係市	和歌山市、紀の川市、岩出市	・ 工事には、ため池の改修、調整池の新設等が含まれます。 ・ 関連事業は、県営事業で実施します。
受益面積	4,306ha (水田3,045ha、果樹園1,261ha)	
事業工期	平成26年度～平成40年度	
整備水準	10年に一度の大雨 (3日連続雨量254mm) に対応	
事業主体	農林水産省	
主要工事計画	排水機 (改修、新設)	4箇所
	排水路 (改修、新設)	45km
	排水管理施設	一式
関連事業	排水機 (新設)	2箇所



凡 例	
	頭首工
	排水機 (新設・改修)
	排水機 (関連事業)
	排水機 (既設)
	開渠 暗渠 国営排水路 (新設・改修)
	用・排水路
	樋門 (既設)
	計画排水流下方向
	現況排水流下方向

1:25,000